



マイスター-60

Quarterly Letter

巻頭メッセージ

- 「平成 23 年度を迎えて!」取締役社長 柴田一郎
- 「改革と飛躍の年」東京支店長 下村洋之
- 「南関東支店 23 期方針」南関東支店長 及川洋二
- 「大阪支店方針」大阪支店長 久保田實
- データでみるマイスター 60 「登録者年齢」「登録者希望職種」
- MEグループ「キャリアデザインプラザ」開設のお知らせ
- Quarterly Letter 編集後記

トピックス

企業理念

雇用機会を創出し、
人々の生きがいを弘め、
生涯現役文化をひらきます。

平成 23 年度を 迎えて!



取締役社長
柴田 一郎

このたびの東北太平洋沖大地震により、亡くなられた方に衷心よりお悔やみ申し上げます。併せて被災された皆様にご丁寧にお見舞い申し上げます。

未曾有の大災害と甚大なる影響

3月29日現在、死者・行方不明者合わせて2万8000人。避難者は18万人と報道されています。一刻も早く復興を成し遂げて新しい日本を作り上げることを世界中が期待しています。

しかしながら現実にはさまざまな分野で影響が出ており、市民活動、経済活動にも甚大なる影響が出ています。

3月11日の地震・津波発生のもとに何が起きたのか列挙しますと、計画停電、農作物汚染、物流寸断、原材料調達の問題、水道水汚染問題、卒業式中止、入学式延期、企業採用活動延期、内定者取り消し、プロ野球開幕延期、海外からの観光客激減、ガソリン不足、一部商品の買占め、工場稼働ストップ、通勤電車の間引き運転、等々。

又、復興支援に必要な資金は25兆円とも試算されており、この財源をどうする

かも大きな課題です。政策の見直しで財源を振り向ける、国会議員・公務員の給与カット、さらに復興国債発行などが国会で議論されていますが、場合によっては増税もあるかも知れません。日本は、これだけの課題を突然抱えたわけです。

日本は、明治維新のような改革を 成し遂げるチャンス!

今、日本人全員が、明治維新のような改革を成し遂げるチャンスが来たと考えればどうでしょうか?

企業は新しいビジネスモデルを!

政府は将来を見据えた法案を!

個人はこの苦難を真正面から見据える覚悟を!

たとえば日本の生産方式はトヨタのカンバン方式(ジャストインタイム)が有名で海外にまで広く普及しています。言い換えれば、在庫を持たずにコストを下げる生産効率を上げるわけですが、部品工場の生産が止まったため、トヨタを始め各自動車メーカーは、生産を止めざるを得ませんでした。日本から部品の供給を受けているGMもしかりです。

今回の地震を教訓に生産の仕組みが変わる可能性があります。そうなれば、物流方式もトラック配送方式主流から鉄道輸送方式にもどるかも知れません。

発電事業はクリーンエネルギー(CO₂削減)に貢献する原発建設も大きく後退するでしょう。代わりに何が出てくるか?

太陽光発電、風力発電、水力発電などにシフトするといわれています。

火力発電が増えるようになるか? 石油石炭の取り合いが起こり、今まで採算

に乗らなかつた油田開発、あるいは廃坑の復活もありえるでしょう。農業を考えると、東北の被災地では、海水が未だに引かず、農地が塩害のため作物が作れない。あるいは放射性物質の影響で作物を作っても売れないなどの問題が長期化しそうです。食料自給率向上などといったきましたが、一方で、米余りのため、休耕地政策を強制してきました。農業政策を一変させる必要があるのではないのでしょうか?

今まで部分最適でやってきた政策を総合政策に切り替える必要があるでしょう。

人の動きが代わるかも知れません。東京一極集中から関西を初めとする地方へ流れていくかも知れません。(原発の動向次第で現実化する)まさにそうなる地方分権を思い切つてやらざるを得なくなるでしょう。

同時に我々市民の意識改革も求められるでしょう。

計画停電の結果、節電、節約の意識が大分芽生えてきました。今までの生活が当たり前と考えないことです。安全、水、空気はただではありません。

では、企業はどうすればいいのでしょうか? かかる変化を先取りし、既成概念をすて自由な発想で規模を拡大し収益をあげ、正しく税金を支払う企業が増えることが、一日も早い日本の復活につながるかと確信しています。

当社は幸いにして直接的な人的・物的被害はありませんでした。社員全員で今の状況を認識し、当社の得意とする分野で微力ながら復興に貢献する所存です。

「改革と飛躍の年」



東京支店長
下村 洋之

前22期東京支店の皆さんには、景況不安定の環境下にもかかわらず、業績向上に日々大変なご活躍を頂き、心より厚く御礼申しあげます。さて、今23期は東京支店にとって「改革と飛躍の年」と位置付けております。東京支店は、23期全社年間売上予算の内、実に49%の年間売上予算を負担します。近年にない大きな予算に挑戦することになります。この年間売上目標を達成する為に、支店目標として次の3点を掲げます。

- 1、当社の基幹であるビル設備管理を従来通り継続します。
- 2、新しい分野として中小企業を対象とした営業展開を積極的に図ります。
- 3、支店年間売上予算金額の14%を占める知的財産部予算必達を図ります。

皆さんもご高承のとおり、当社の使命は、シニア人材の雇用創出を図り、就業支援を行うことにあります。

人材ビジネスにとって最も重要な施策は、如何に優秀な人材を早期に確保し、派遣・紹介予定派遣・紹介の案件に結びつけるかということです。即ち、「人ありき」です。その為には、支店全員と人材情報セン

ターとの連携を密にすることが、最大のポイントとなります。

優秀な人材を早期に確保し、お客様に提供して、お客様のニーズに応える。お客様と当社をwin-winの型に持つていくことにより、お客様の信頼を得ることが、当社発展に結びつきます。当社は、平均年齢が64歳と他社に比べると高齢化集団です。それに伴い日常業務の遂行過程において、ややもすると従来の仕事のやり方を保守し、業務や言動の改善並びに進め方への改革に遅れが生じ、改革への抵抗を感じるものが無きにしても非ずです。

今23期は、支店の皆さん全員がお互いに過去の業務遂行過程を謙虚に見直したり振り返ったり、予算達成の為に自分の担当職務を遂行する上で、「何をなさねばならないか」「どのように改善改革をしなければならぬか」の問題意識を常に持ちつづけていただきたいと思います。

その一つとして、情報を取り入れお互いが共有化してそれをヒントにしながら業務の質的向上に取組む方法があります。

ME発刊の「野生的文化人」・当社発刊の「Q.L」には、経営に関する基本的指針が示されておりあります。会社の方向性を咀嚼し、世の中の流れ、経済状況、経済動向などの変化にマッチさせ意識して業務姿勢の改革を切にお願い申しあげます。

常に「お客様に何ができるか」「中身と品質を含めたサービスを如何にお客様のニーズに先取して提供できるか」が今後のビジネスでは、重要と考えます。

個人プレーを払拭し、支店全員の持てる力を結集したフォア・ザ・チームに徹し、「改革と飛躍の年」に挑戦いたしたく、皆さんのご支援を心よりお願い申しあげます。

南関東支店 23期方針



南関東支店長
及川 洋二

旧池袋事業部、旧幕張事業部が統合して南関東支店として三年経過しました。

市場経済が大幅に落ち込んだここ二年間の厳しい環境の中で昨年度の売上は08年度実績の86%迄になりました。収益の方は大きく改善いたしました。

南関東支店の主取引先のビル・メンテナンス会社におきましては価格競争の激化、契約内容の見直し、請負先変更による派遣先変更等、厳しい市場の争奪戦は枚挙にいとまがありません。

このような中、お客様の信頼に應えるべく基本に立ち返り業務推進してまいりましたが今年はその実行力と実績力が一段と問われる年です。

今年度の南関東支店方針は「新たな領域拡大への挑戦」を目標に全員一丸となり展開してまいります。

目標の行動指針は三つです。

- ①設備管理関連領域拡大へチャレンジ
 - ②提案営業の徹底による新市場開拓
 - ③登録人材活用によるマッチング強化
- この三目標を着実に実行していくことで計画の達成に向けて全力投球していきます。

領域拡大については設備管理業務から建物・設備保全業務さらには管理サービス業務、マネジメント業務へと人材紹介を含めてビル・メンテナンス業の領域を広げ、技術支援業務全般へ領域拡大をしていきます。

提案営業による新市場開拓については、お客様が本当に有用とする人材をデータベースなどを駆使してターゲットを絞り込み、シニアの持つ質の高い即戦力の人材を提案して必要な分野に速やかに提供していくような営業展開を目指します。領域を中広い分野に向けて切り拓いていく市場開拓営業です。ホワイトカラー職種も含め、又災害復興支援業務に必要な職種等の開拓先を切り拓いていきます。

登録人材の活用とマッチング強化については登録案件のスピード重視のマッチング成果とエントリーいただいた方の一日も早いご期待に沿う案件の受注活動強化を目指して市場対応していくことです。

これらをやり遂げていくためには一人ひとりが強い意識を持ち、市場開拓を目指す行動をしていかなければなりません。

全員が目標達成に向け、情報を共有化し合い精度を上げ本当にお客様が求める人材情報をスピードを持って提供していく事に使命を感じて行動を成し遂げていく事です。

又常に変化する市場に対し、その変化を常にかけて個人個人が真剣に考えシニアの市場創造に向けた不断の努力で結果を作り出していくことを全員が自覚しチームワークを持って進むことです。

三つの行動指針を全員で理解しながら目標達成と業容拡大の新しい成長基盤づくりをしていく事を目標として南関東支店の方針としてまいります。

大阪支店方針



大阪支店長
久保田 實

東日本大震災に伴い関係各位にはお見舞い申し上げます。

戦後最大の震災であること、復興には相当な期間がかかることで、経済環境が厳しい局面となりますが、我々日本人は、この様な苦境を乗り越えて来た経験があります。従って、今回の震災でも、負けずに力を合わせて復興しようではありませんか。

さて、当社は、20期から22期にかけての景気に影響され、人余り、合理化等で、売上、人員が激減している中、特に大阪支店は、20期には社員が、171名でしたが、22期3月には81名と53%減となりました。

そこで、23期大阪支店方針としては、「売上高、人員増加させるには何をすべきか」が最大のテーマとなります。

- 1、東日本大震災による復興の需要が突出するため、土木、建築技術者を建築会社に提案営業をかける。
- 2、高付加価値事業へのチャレンジ。

- ① エネルギー関連
エネルギーセンター
(エネルギー管理士)

② 環境関連

(イ) 水処理センター

(機械据付技術者)

(ロ) ゴミ処理センター

(機械据付技術者)

③ 設計関連

(電気機械設計技術者)

3、MEファシリテイ事業部への派遣の増加を図る。

現行8名の派遣をしていますが、MEファシリテイ事業部との連携により更に増員を図りたい。

4、人材確保強化策を行う。

① 登録者を3か月に1回のメンテナンスをして、就職希望者を活用する

② ホームページを活用する

③ OB、登録有望人材を営業担当に積極的に紹介する

5、業務管理強化策を行う。

① 退職率を下げる為、派遣社員全員を定期訪問面談の実施

② 退職予定者(特に契約満了社員)を営業担当に積極的に紹介する

③ 本部社員は、少数精鋭で実践コストに係る実施事項。

① 本部社員は、少数精鋭で実践

② 通信費の削減

③ 事務用品費の削減

④ 本部スタッフは、担当者別予算目標を設定し目標達成にチャレンジする。

今期は「ビジネスモデル変革の年」と致します。

これからも現業社員の皆様と共に力を合わせて、より一層職場開発を推進し、努力してまいります。

皆様のご支援ご鞭撻を宜しくお願ひ致します。

データでみる
マイスター60

「登録者年齢」「登録者希望職種」

マイスター60は2、380名の方に登録していただいております。(2010年12月末現在)

当社は施設・設備管理のシニア派遣を主体としてきたため、登録者の構成も60歳以上の方で60%を占め、電気やボイラーなどの資格を持った専門技術者が多く登録しています。

シニアの方に関しては、フルタイムで働きたいという方ばかりではなく「週に数日」や「短時間・短期間」、「在宅」な

ど、希望する働き方が様々です。又、退職理由としては、親の介護が多多いのが特徴です。

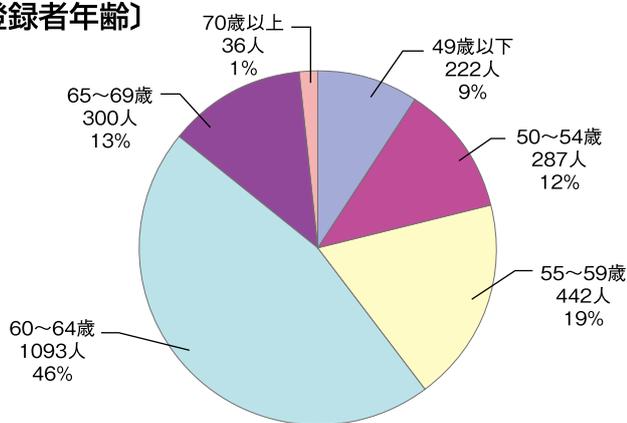
一方で、60歳未満の方、40代以下は9%で、50代は31%です。最近の傾向としては事務系などの登録者も増加して来ています。

登録者の方たちの就業の場を広げるためには、新しい分野への取り組みが必要です。

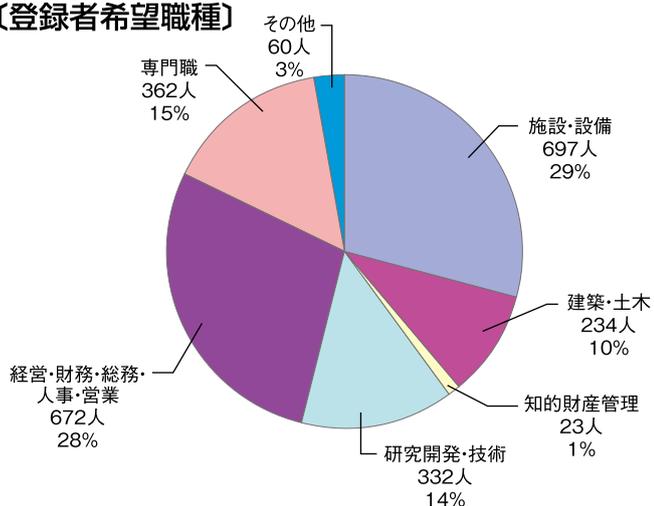
そこで、昨年からの知的財産分野や中小企業のマネジメント、海外事業などへ進出しています。

マイスター60が、お客様に必要とされると同時に、登録者の方に就業の場をご提供していくには、積極的且つきめ細かな対応が不可欠です。

〔登録者年齢〕



〔登録者希望職種〕



—人と技術の出会い—
MEグループ
キャリアデザインプラザ
開設のお知らせ

平成23年2月21日に、マイスター60の親会社 株式会社マイスターエンジニアリング及びMEグループは、五反田本社ビルの1階にMEグループ キャリアデザインプラザを開設しましたのでお知らせいたします。

開設の目的

当社グループは技術サービスの提供会社であり、お客様の抱える問題を解決する「ソリューションパートナー」として事業活動を行っております。

この「キャリアデザインプラザ」は、お仕事を抱えられているお悩みや不安などに対して、当社グループの社員が皆様と一緒に、問題の解決を考え、新たなキャリアデザインやライフワーク充実の実現に向けたお手伝いをさせていただく場と位置付けております。

このように人材採用につきましても、「ソリューションパートナー」として人と人とのふれ合い、心と心のふれあいを大事にすることをモットーとしております。

なお、当社グループは約1800名からなる技術者集団でありますので、技術者の求人情報も多数保有しております。

この情報により皆様との『出会い』が実現し、一緒にお仕事ができたら幸いと考えております。

ぜひ、当「キャリアデザインプラザ」にお立ち寄りください。

ご来社をお待ち申し上げます。



ガラス張りの会議室



受付・TVモニター



ME グループ看板



五反田本社ビル入口



接客フロア・面接ブース

(編集・発行)

ME **マイスター60**

〒141-0031
 東京都品川区西五反田7-19-1

株式会社マイスター60
 事業本部 山口 聡美

TEL.(03)6431-9360
 FAX.(03)5487-8219
 e-mail:quarterly@mystar60.co.jp

Quarterly Letter

編集後記

この度の東日本大震災により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様、並びにご家族の方々に對しまして心よりお見舞い申し上げます。

3月11日の日を境に、多くの方々が辛い思いをなさっています。大切なものを失った心の痛みは、時間をかけて少しずつ形を変えていくのではないのでしょうか。

様々な不安が取り巻く日本にも、暖かい日差しは訪れました。五反田本社のそばにある目黒川沿いも、桜並木となり心を癒してくれました。どんな時も肅々と時間は経過し、四季は巡って来ます。

和の心を持った私たちが一丸となつて、日本を本当の意味でよくしていく努力をする。今がその時だと思えます。

